



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月14日

上場会社名 フジコピアン株式会社

上場取引所

東・福

コード番号 7957

URL <https://www.fujicopian.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐々木 敏樹

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務

(氏名) 上田 正隆

(TEL) 06(6471) 7071

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	6,191	△3.9	△185	—	△175	—	△176	—
2024年12月期第3四半期	6,444	8.0	△310	—	△291	—	△342	—

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 △126百万円(—%) 2024年12月期第3四半期 △91百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	△115.43	—
2024年12月期第3四半期	△224.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	16,478	10,322	62.6
2024年12月期	16,442	10,565	64.3

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 10,319百万円 2024年12月期 10,565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	78.00	78.00
2025年12月期	—	0.00	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	—	—	61.00	61.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,300	△8.8	△370	—	△340	—	△350	—	△228.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社 (社名) 、除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 3 Q	1,789,487株	2024年12月期	1,789,487株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	258,815株	2024年12月期	258,805株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 3 Q	1,530,681株	2024年12月期 3 Q	1,530,682株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響をあたえる不確実な要因にかか
る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果と
なる可能性があります。

上記の予想に関する事項については、3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来
予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、継続的な物価上昇により実質賃金は伸び悩んだものの、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費は底堅く推移したことから緩やかな回復基調が続きました。一方で、ウクライナや中東情勢の長期化、欧州や中国の景気減速、米国関税政策の影響など景気の下振れリスクが引き続き懸念されるなど先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当グループの強みである、創造型企業としての技術をもとに、新製品の開発および市場の開拓を重点課題とし、多様化・高度化する顧客のニーズに対応する開発に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間における販売面につきましては、中期経営計画における重点課題「新製品・新規事業の開発」に注力するなかで、主力のサーマルトランスファーマEDIAでは海外向け受注が着実に増加してきたものの、国内市場での受注が伸び悩みました。テープ類では国内市場で遅れていた需要に回復の兆しが出てまいりましたが、力強さに欠ける状況が続き、また、海外市場でも中国の景気減速に伴い受注が減少しました。

また、生産面では、「ものづくり力・生産性の強化」を目指し、グループ全体でのコスト削減を推進し、収益改善に取り組んでまいりましたが、原材料価格の高止まりの影響などもあり、厳しい状況が続きました。

この結果、連結売上高は、61億9千1百万円(前年同期比3.9%減)となりました。

利益面におきましては、グループを挙げた生産の効率化や販売費および一般管理費の抑制に努めるなどコスト削減に取り組んでまいりましたが、営業損失は1億8千5百万円(前年同期 営業損失3億1千万円)となり、経常損失は1億7千5百万円(前年同期 経常損失2億9千1百万円)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は法人税等の計上などにより、1億7千6百万円(前年同期 親会社株主に帰属する四半期純損失3億4千2百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであり、売上高についてはセグメント間の内部売上高又は振替高を除いた売上高で表示しております。

印字記録媒体および事務用消耗品関連事業は、売上高58億9千4百万円(前年同期比3.6%減)、セグメント利益(売上総利益)は12億7千5百万円(前年同期比2.8%増)となりました。

品目別売上高としましては、サーマルトランスファーマEDIAは、主力のバーコード用リボンを中心に拡販に努めました結果、37億4千8百万円(前年同期比0.9%増)となりました。

インパクトリボンは、市場の縮小傾向が続くなか、選択と集中にもとづく営業活動を展開し、5億7千6百万円(前年同期比1.4%減)となりました。

テープ類は、国内市場で遅れていた需要に回復の兆しが出てまいりましたが、いまだ力強さに欠ける状況が続き、また、海外市場でも中国の景気減速の影響を受け、10億5千4百万円(前年同期比21.4%減)となりました。

機能性フィルムは、新製品に対する需要増加および既存顧客の掘り起こしにより、3億2千4百万円(前年同期比22.6%増)となりました。

その他は、1億9千万円(前年同期比9.1%減)となりました。

プラスチック成形関連事業は、取引先各社の需要の回復遅れがあるものの、売上高2億9千7百万円(前年同期比9.9%減)、セグメント利益(売上総利益)は6千2百万円(前年同期比4.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、164億7千8百万円(前連結会計年度末比0.2%増)と、前連結会計年度末に比べ3千5百万円の増加となりました。これは、主に電子記録債権が減少した一方、建設仮勘定が増加したことなどによるものであります。

負債は、61億5千5百万円(前連結会計年度末比4.7%増)と、前連結会計年度末に比べ2億7千9百万円の増加となりました。これは、主に長期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産は、103億2千2百万円(前連結会計年度末比2.3%減)と、前連結会計年度末に比べ2億4千3百万円の減少となりました。これは、主に利益剰余金が減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期通期連結業績予想につきましては、2025年2月14日発表の数値を変更しております。

詳細につきましては、本日公表しております「連結業績予想の修正および配当予想の修正ならびに役員報酬減額に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,857,775	2,772,176
受取手形及び売掛金	2,327,522	1,893,235
電子記録債権	922,540	483,302
商品及び製品	674,753	891,005
仕掛品	680,081	842,507
原材料及び貯蔵品	573,655	713,025
その他	147,025	240,432
貸倒引当金	△3,247	△2,287
流動資産合計	8,180,107	7,833,397
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,794,851	2,792,808
機械装置及び運搬具（純額）	1,470,949	1,489,250
土地	1,679,923	1,679,923
建設仮勘定	91,972	510,854
リース資産（純額）	120,204	102,169
工具、器具及び備品（純額）	132,787	128,251
有形固定資産合計	6,290,689	6,703,258
無形固定資産		
ソフトウェア	60,454	100,219
リース資産	329,940	322,581
ソフトウェア仮勘定	44,919	-
その他	41,090	40,182
無形固定資産合計	476,404	462,983
投資その他の資産		
投資有価証券	1,265,449	1,324,610
その他	229,969	154,211
投資その他の資産合計	1,495,418	1,478,822
固定資産合計	8,262,512	8,645,063
資産合計	16,442,619	16,478,461

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	463,628	555,157
電子記録債務	1,077,424	664,366
1年内返済予定の長期借入金	839,562	718,748
リース債務	77,451	65,808
未払法人税等	87,872	15,199
未払消費税等	8,365	7,199
賞与引当金	-	68,166
設備関係支払手形	38,445	-
設備関係電子記録債務	274,302	635,662
その他	362,320	283,357
流動負債合計	3,229,374	3,013,667
固定負債		
長期借入金	1,507,843	2,073,389
リース債務	60,011	72,147
繰延税金負債	206,455	198,702
役員退職慰労引当金	253,283	237,483
退職給付に係る負債	615,881	556,572
資産除去債務	3,811	3,811
固定負債合計	2,647,286	3,142,106
負債合計	5,876,661	6,155,773
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,791,796	4,791,796
資本剰余金	2,995,928	2,995,928
利益剰余金	2,394,371	2,098,287
自己株式	△422,020	△422,035
株主資本合計	9,760,076	9,463,977
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	470,255	504,904
為替換算調整勘定	340,154	357,813
退職給付に係る調整累計額	△4,528	△7,066
その他の包括利益累計額合計	805,881	855,651
新株予約権	-	3,059
純資産合計	10,565,957	10,322,687
負債純資産合計	16,442,619	16,478,461

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	6,444,281	6,191,325
売上原価	5,143,732	4,853,538
売上総利益	1,300,548	1,337,787
販売費及び一般管理費	1,611,188	1,523,507
営業損失(△)	△310,639	△185,720
営業外収益		
受取利息	150	1,135
受取配当金	38,524	35,088
その他	5,945	21,709
営業外収益合計	44,620	57,933
営業外費用		
支払利息	14,857	24,730
為替差損	9,922	14,753
その他	296	8,614
営業外費用合計	25,076	48,098
経常損失(△)	△291,095	△175,885
特別損失		
固定資産廃棄損	34,017	6,122
特別損失合計	34,017	6,122
税金等調整前四半期純損失(△)	△325,113	△182,007
法人税等	17,857	△5,316
四半期純損失(△)	△342,971	△176,691
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△342,971	△176,691

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純損失(△)	△342,971	△176,691
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	149,230	34,649
為替換算調整勘定	107,884	17,659
退職給付に係る調整額	△5,367	△2,538
その他の包括利益合計	251,747	49,770
四半期包括利益	△91,223	△126,920
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△91,223	△126,920

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第3四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第3四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前第3四半期連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の第3四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前第3四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印字記録媒体 および事務用 消耗品関連事業	プラスチック 成形関連事業	計		
売上高					
サーマルトランス ファーマディア	3,714,475	－	3,714,475	－	3,714,475
インパクトリボン	584,719	－	584,719	－	584,719
テープ類	1,340,600	－	1,340,600	－	1,340,600
機能性フィルム	265,063	－	265,063	－	265,063
その他	209,799	－	209,799	－	209,799
プラスチック成形	－	329,622	329,622	－	329,622
顧客との契約から 生じる収益	6,114,658	329,622	6,444,281	－	6,444,281
外部顧客への売上高	6,114,658	329,622	6,444,281	－	6,444,281
セグメント間の 内部売上高又は振替高	－	444	444	△444	－
計	6,114,658	330,066	6,444,725	△444	6,444,281
セグメント利益	1,240,365	60,251	1,300,616	△67	1,300,548

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

Ⅱ. 当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印字記録媒体 および事務用 消耗品関連事業	プラスチック 成形関連事業	計		
売上高					
サーマルトランス ファーマディア	3,748,299	-	3,748,299	-	3,748,299
インパクトリボン	576,290	-	576,290	-	576,290
テープ類	1,054,060	-	1,054,060	-	1,054,060
機能性フィルム	324,974	-	324,974	-	324,974
その他	190,771	-	190,771	-	190,771
プラスチック成形	-	296,929	296,929	-	296,929
顧客との契約から 生じる収益	5,894,396	296,929	6,191,325		6,191,325
外部顧客への売上高	5,894,396	296,929	6,191,325	-	6,191,325
セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	530	530	△530	-
計	5,894,396	297,459	6,191,856	△530	6,191,325
セグメント利益	1,275,001	62,874	1,337,875	△87	1,337,787

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	489,731千円	485,763千円